

宮前自治会の皆さんとの意見交換の場

日 時 平成 30 年 11 月 3 日（土）19 時 30 分から
場 所 井ノ口上会館
出席者 議会 議長 広聴委員会 5 名
宮前自治会 9 名（議員含む）

あいさつ

議 長 10 年程前より、地方分権や合併問題などにより、議会の在り方が問われてきた。また、議会改革の名のもと、議員定数の削減などが先行し、議会活動の縮小につながってしまった。

そのような中、議会の在り方について、住民との約束として作り上げたのが議会基本条例。住民の声をキャッチする場として、このような機会を設けさせていただいた。町に対する要望などありましたら、お聞かせいただき、議会として町に要望する等、一つひとつ取り組んでいきたいと考えている。

自治会長 住みやすいまちづくり・企業誘致・子育て支援・インター周辺の道路整備などについて、話し合いをしたいと思っている。

委 員 長 議会構成の説明・中井町のまちづくりとして第六次総合計画概要の説明。

質疑応答

インター周辺・道路等の整備について

（質問） ・インター周辺道路整備の推進について、現在の進捗状況と議会の協力が得られるのかどうか。

（回答） ・町でも積極的に取り組んでいる。議会でも協力していきたい。

（質問） ・10 年程前の上下水道工事後、住宅の振動が激しい。直接の因果関係は判りませんが、時期的に重なるためそのように思える。

・原バス停のところがかつて掘り返しをしたためか、住宅の振動が激しい。

（回答） ・自治会長から、町に要望されたほうが、地元議員もバックアップしやすい。
・境から震生湖までを 5 年かけて舗装し直している。うち替えて振動が軽減すると思う。

（質問） ・中学生が通学する際、才戸付近の歩道の草が生い茂っていて、支障をきたしている。すり替わりもできない状況だ。

（回答） ・県の管理なので、年 1 度しか草刈りをしていない。

・町に申し入れをし、県に挙げてもらえば、プラスの部分で対応していただけることもある。

災害対応について

（質問） ・防災について、井ノ口地区の避難場所として、井ノ口小学校の体育館が指定

されているが、収容人数が 100 名である。宮前自治会だけでも防災訓練に 182 名の参加があった。地震が発生した時、避難場所が本当に確保されているのか。各教室が使えるのか。教室を使った場合、総勢何人収容できるのか。井ノ口小学校以外の避難場所を準備する必要があるのではないか。又、トイレの設置場所など、あらかじめ決めておくことが大切。

(回答) ・発災時、初期段階では教室の利用も予定に入れている。町は収容できる人数の計算もしている。少し落ち着いて、学校の授業が再開されるまでは利用できるはず。

(質問) ・台風 24 号の時、避難場所として指定したのが改善センターのみであった。井ノ口を無視しているのか。

(回答) ・その前の台風の際は、井ノ口公民館、境コミュニティセンターを避難場所に指定した。24 号の際は台風が弱いと判断したのではないか。町の対応が定まっていないうし、判断にむらがあると思う。

自治会の運営等について

(質問) ・宮前自治会には自治会館がない。現在 1000 万円程の積立金はあるが、建設のためのバックアップをお願いしたい。

(回答) ・半分形や遠藤原では自治会員から建設費を徴収・積み立てをし、町からの補助も受けて会館建設をした。土地については現在も借りている状況。

(質問) ・将来の町財政減の問題は、やむ負えないことではあるが、自治会助成金の一戸当たり、一人当たりの単価を現状維持してほしい。

(回答) ・町財政が厳しくなった時、行政サービスを縮小しないためには、協働事業の推進が大切になる。各自自治会の協力なくしてはかなわない。補助単価を減らすことはないと考えている。

(質問) ・自治会補助は何パーセントくらいか。

(回答) ・自治会加入率は 80 パーセントくらいだと思う。

(質問) ・自治会加入について、必要という人と、煩わしいという人と非常に温度差がある。皆さんはどう考えているか。

(回答) ・議会でも、委員会のテーマに挙げ、話し合いをした経緯はあるが、強制できるものでもなく、各自自治会でも苦慮されている現状。

ふるさと納税について

(質問) ・ふるさと納税の返礼品を返した後の残りが、何億ぐらいあるのか。返礼品の開発も積極的に進めてほしい。

(回答) ・4000 万円の納税額で、返礼品と、よそへのふるさと納税減額を合わせ、差引すると、1000 万円。

・現在も、返礼品にするための特産品開発は積極的に進めている。